

プロフィール

村上 真平 (むらかみ しんぺい)



1959年、福島県田村市生れ。70年から有機農業を始めた農家の後継者であったが、82年、インドに渡

りガンジー・アシュラムに一年間滞在したのをきっかけに海外協力の道に入る。

85年からバングラデシュに6年間、96年からタイに5年間、民間海外協力団体（NGO）を通して自然農業の普及と持続可能な農村開発の活動に関わる。

2002年、日本に帰国し、福島県飯舘村に入植、「自然を収奪しない農の在り方と、第三世界の人々を搾取しない生活の在り方」の探求、持続可能な生き方を目指し、自然農業、自給自足をベースにしたエコビレッジづくりを始める。

2011年3月11日深夜、福島原発1号機のメルトダウンを知り、12日早朝、飯舘村から避難。現在、三重県伊賀市に在住。